

第2回戸田市バイシクルシティ推進プラン策定委員会

次第

日時：令和5年8月7日(月) 午後2時～

場所：戸田市役所5階大会議室C

1 開 会

2 報告事項

(1) 通勤・通学時の交通手段に関するWEBアンケート調査結果について【資料1】

3 議 題

(1) 戸田市バイシクルシティ推進プラン骨子案の修正・決定について 【資料2】

(2) 戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案の確認・検討

戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案について 【資料3】

第1回策定委員会における意見等への事務局の対応状況 【資料4】

(3) 今後のスケジュールについて 【資料5】

4 その他

5 閉 会

「通勤・通学時の交通手段に関するアンケート」調査結果報告

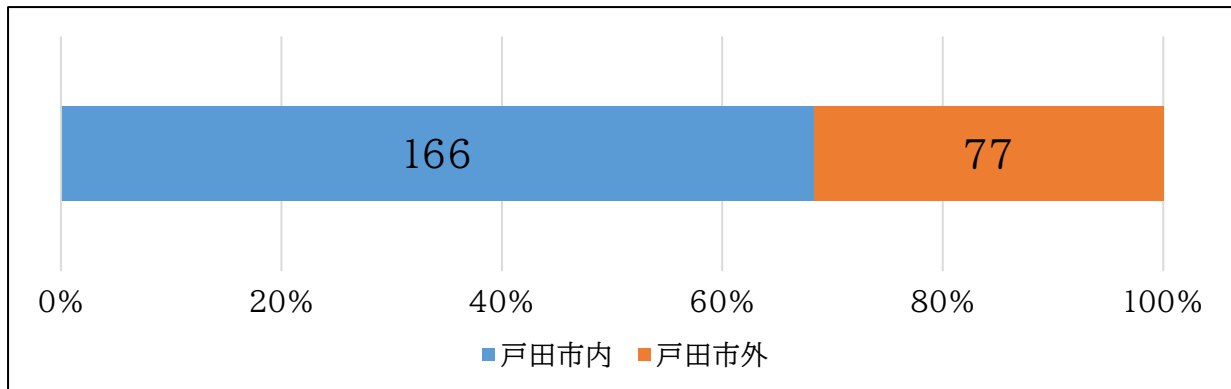
1 調査の概要

「戸田市バイシクルシティ推進プラン」の策定にあたり、市内における自転車の利用状況や自転車走行環境等についてご意見を伺うことを目的として、アンケートを実施しました。

対象者	戸田市内在勤・在住者
方法	WEB アンケート調査方式
実施期間	令和5(2023)年6月30日(金)~7月7日(金) 8日間
回答数	243件

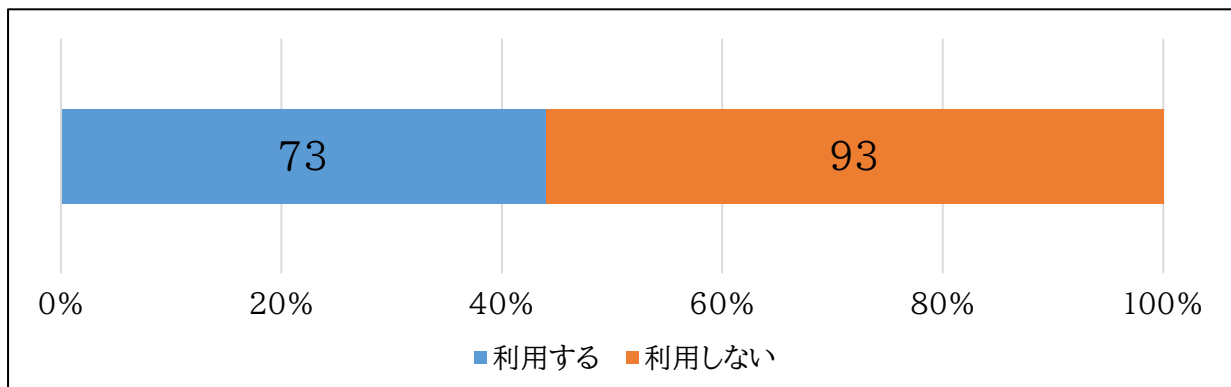
2 調査結果(選択設問)

Q1. 居住地(n=243)

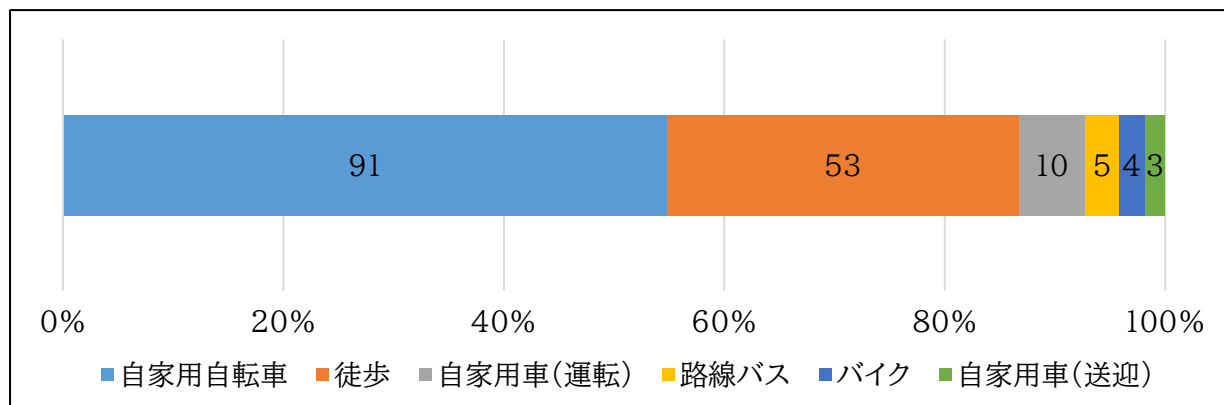


※以下の設問は戸田市内居住者を対象として集計する。

Q2. 通勤・通学の際に電車を利用するか。(n=166)



Q3. 通勤・通学時の主な交通手段(n=166)

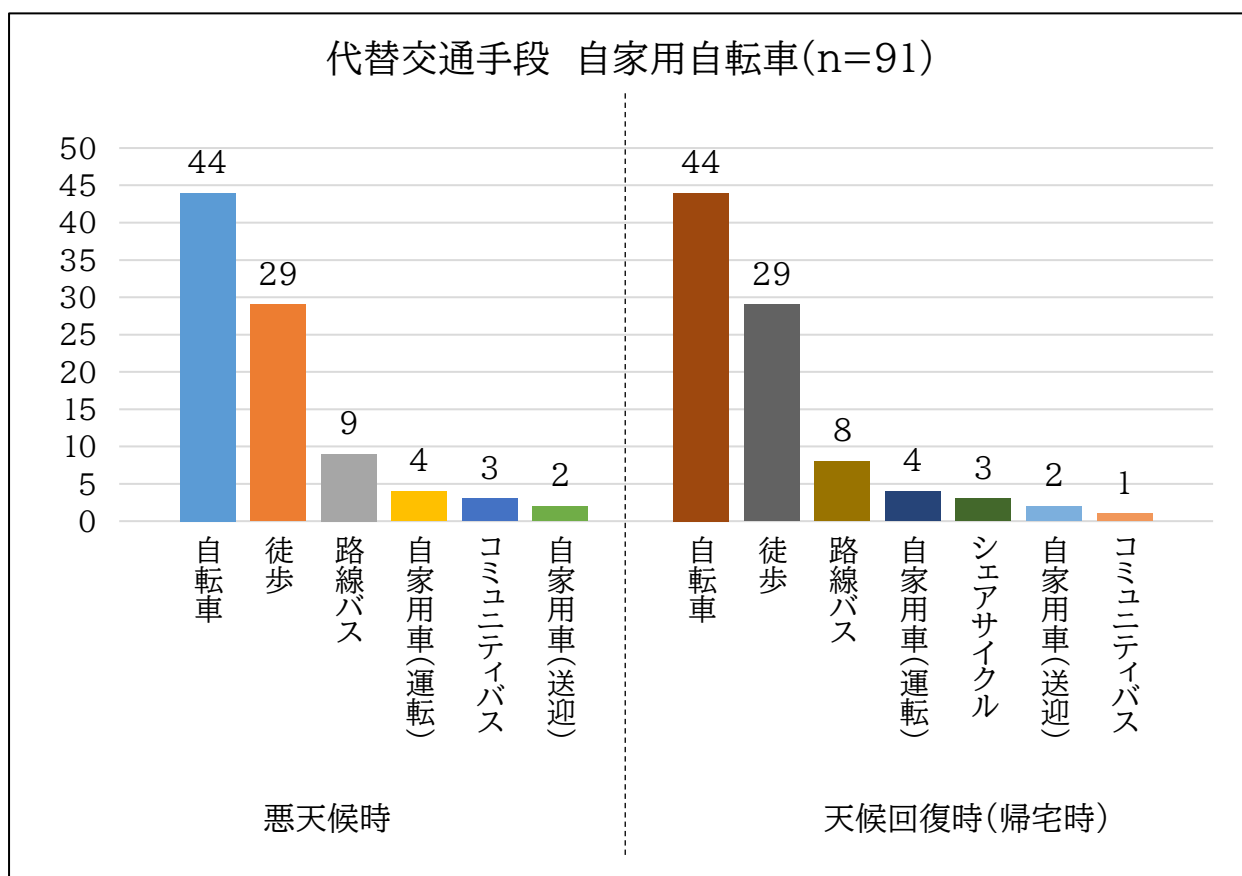


※電車を利用する方は、自宅から駅までの交通手段を回答

Q4. 通勤・通学時に悪天候だった場合の交通手段

Q5. 帰宅時に天候が回復した場合の交通手段

【通常交通手段: 自家用自転車(n=91)の方の回答結果】



【参考】通勤・通学時の交通手段に関するWEBアンケート設問

No	設問内容	選択肢	回答方式
1	お住いの地域を教えてください。	戸田市内 戸田市外	1個選択
2	あなたは通勤・通学の際に電車を利用しますか。	利用する 利用しない	1個選択
3	通勤・通学時に主に利用する交通手段を教えてください。 ※電車を利用する場合は、【市内在住の方】自宅⇄市内駅の間、【市外在住の方】市内駅⇄目的地（職場、学校等）の間、の交通手段を選択してください。また、バス停や駐車場、タクシー乗り場等までの交通手段は回答不要です。	自家用車（自分が運転） 自家用車（家族等による送迎） バイク 路線バス コミュニティバス 勤務先・通学先の送迎バス タクシー 自家用自転車 シェアサイクル キックボード（電動含む） 徒歩	1個選択
4	通勤・通学時間帯に悪天候（雨天・降雪等）だった場合の行き の交通手段を教えてください。 ※「行き」は【市内在住の方】自宅⇒市内駅又は目的地（職場、学校等）、【市外在住の方】市内駅⇒目的地、の区間を指します。	自家用車（自分が運転） 自家用車（家族等による送迎） バイク 路線バス コミュニティバス 勤務先・通学先の送迎バス タクシー 自家用自転車 シェアサイクル キックボード（電動含む） 徒歩	1個選択
5	通勤・通学時間帯に悪天候（雨天・降雪等）だったが、帰宅時 時間帯に天候が回復した場合の帰りの交通手段を教えてください。 ※「帰り」は【市内在住の方】市内駅又は目的地（職場、学校等）⇒自宅、【市外在住の方】目的地⇒市内駅、の区間を指します。	自家用車（自分が運転） 自家用車（家族等による送迎） バイク 路線バス コミュニティバス 勤務先・通学先の送迎バス タクシー 自家用自転車 シェアサイクル キックボード（電動含む） 徒歩	1個選択

骨子(施策体系)修正案

【修正前】

第4章 施策の展開 ※各施策ごとに成果指標と目標値を設定	
1.【いかす】自転車を活用しやすい環境づくり	
(1)シェアサイクルの普及促進	
(2)公共交通機関との接続性の向上	バイク&バスライドの整備
(3)サイクリング環境の充実	河川敷や公園のサイクリング環境整備、サイクリスト受入れ環境整備、サイクリングマップによる情報発信
(4)自転車の日常利用の促進	自転車用ヘルメット着用の推進、自転車を活用した健康づくりの推進、自転車通勤・通学の推進、手軽に点検整備できる環境の整備等の検討
2.【まもる】自転車ルール・マナーの意識を高める環境づくり	
(1)自転車安全教育の推進	交通安全教室及びスクエアドストレイトの実施、関連団体主催イベントの後援
(2)自転車ルールやマナーの周知・啓発の強化	交通安全運動・啓発活動の実施、サイクルイベントの企画・開催、啓発看板・路面標示等の設置
(3)子どもが安全に自転車の乗り方やルールを学ぶことができる場の確保	自転車の練習ができる公園・広場の整備検討(交通公園等)
(4)自転車賠償保険の加入促進	CSマーク取得促進・支援の検討
(5)多様なモビリティのルールの周知	電動キックボード等のルールの周知に向けた取組み
3.【はしる】安全・快適に走行しやすい道路環境づくり	
(1)自転車通行空間の整備促進	第2次歩行者自転車道路網整備計画に基づき推進
(2)無電柱化の推進	無電柱化推進計画に基づき推進
(3)路上駐車削減に向けた取組み	警察との連携、注意喚起看板の設置や取締り体制の強化を検討
(4)自転車通行危険箇所の把握と対策	警察との連携、危険箇所の情報収集と対策案を検討
4.【とめる】自転車をとめやすい駐輪環境づくり(自転車駐輪場整備計画)	
(1)駐輪場の適正配置の検討	公営・民営問わず、駅への利便性向上に向けた適正な駐輪場の配置を検討
(2)安心して利用しやすい駐輪場運営	既存サービスや利用者からの意見等を踏まえ今後のサービス内容を検討
(3)施設条件に見合った利用料金の検討	立地条件や階層等の条件を踏まえた料金形態の検討
(4)民間用地による駐輪場整備の促進	民間用地の空きスペースの活用、民間事業者による駐輪場整備に係る支援等を検討
(5)宅地開発等における駐輪場付置義務	駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた駐輪場の整備促進
(6)放置自転車削減に向けた取組みの強化	指導・警告・周知活動の強化
(7)放置自転車の活用推進	自転車リサイクル・売り払い事業の推進



【修正後】

基本目標	施策	取組内容
【いかす】 ～自転車を活用しやすい環境づくり～	1. 自転車利用の利便性を高める交通環境づくりの推進	①シェアサイクルの普及促進 ②公共交通機関との接続性の向上
	2. 自転車の日常利用を促す取組の推進	③自転車を活用した健康づくりの推進 ④自転車通勤等の促進 ⑤災害時における自転車利用の推進
	3. 自転車を活かした地域活性化の推進	⑥サイクリング環境の充実 ⑦サイクリングマップによる情報発信
【まもる】 ～自転車の安全利用に向けた意識を高める環境づくり～	4. 自転車ルール・マナーの向上に向けた意識醸成の推進	⑧多世代に向けた自転車安全教育の推進 ⑨自転車等のルール・マナーに関する周知・啓発の推進 ⑩子供が安全な自転車の乗り方やルールを学ぶ機会の創出 ⑪自転車利用者に対する指導・取締り強化の要請
	5. 自転車利用時の安心感・安全性を高める取組の推進	⑫自転車用ヘルメット着用の推進 ⑬自転車損害賠償保険への加入促進 ⑭手軽に点検整備できる環境の充実
【はしる】 ～自転車が安全・快適に走行しやすい道路環境づくり～	6. 安全・快適に自転車が走行できる道路環境整備の推進	⑮無電柱化等を踏まえた自転車通行空間の計画的な整備と維持管理 ⑯路上駐車削減に向けた取組の促進 ⑰自転車通行危険箇所の把握と対策の推進
【とめる】 ～自転車をとめやすい駐輪環境づくり～	7. 誰もが利用しやすい市営自転車駐輪場運営の推進	⑱地域のニーズを踏まえた利用環境の最適化 ⑲施設条件や目的に対応した利用料金の検討
	8. 駐輪需要に応じた駐輪スペースの確保と利用の促進	⑳駐輪需要を生じさせる施設等における自転車駐輪場の整備促進 ㉑駅周辺駐輪場の利用促進に向けた周知・広報の推進
	9. 放置自転車のない快適な通行環境確保の推進	㉒放置自転車の抑制に向けた取組の強化 ㉓放置自転車の活用推進

戸田市バイシクルシティ推進プラン計画素案 について

3 - 1 目指すべき将来像

本市の自転車利用に関する現状と課題を踏まえ、市民や来訪者が安全・安心で快適に自転車利用をできる、まちづくりを進めることで、「このまちで良かった」と思う人が増えることを目的として、目指すべき将来像を以下の通り定めます。

安心・快適 水と緑のスマートサイクルシティ 戸田

【将来像の解説】

- ・「安心」...誰もがルールやマナーを守り、安全にかつ安心して自転車を利用できるまち
- ・「快適」...快適に市内を通行できる環境、いつでもどこでも快適に駐車ができる環境が整備されたまち
- ・「スマート」...スマートにシェアモビリティの利用や公共交通への接続ができるまち
市民が皆、賢く自転車を活用できるまち
市内のどこへでも素早く移動できるまち(コンパクト、スリムと同義)

3 - 2 計画の基本目標

【いやす】 ~ 自転車を活用しやすい環境づくり ~

交通安全の確保を前提に、市民や来訪者など誰もが気軽に自転車を利用しやすい環境をつくることで、公共交通の補完としての役割に加え、健康増進や地域振興、レジャーやスポーツ、さらには災害時における活用など、自転車の役割拡大や活用促進を図ります。

【まもる】 ~ 自転車の安全利用に向けた意識を高める環境づくり ~

誰もが安全で安心して移動できる地域社会の実現に向けて、誰もが交通ルールを守り、歩行者、自転車、自動車がお互いに配慮できるように、ルール・マナーの周知をより幅広い人々に対し啓発し、交通安全意識のさらなる醸成を図ります。

【はしる】 ~ 自転車が安全・快適に走行しやすい道路環境づくり ~

良好な都市環境の形成に向けて、自転車が市内を安全で快適に通行できる環境を整備するとともに、本市の道路環境を踏まえ、歩行者、自転車、自動車が共存できるような道路環境整備を推進します。

【とめる】 ~ 自転車をとめやすい駐輪環境づくり ~

通勤・通学や買物など様々な用途に応じて、適切に自転車を駐車できるよう、地域のニーズに応じた安全で快適に利用できる駐輪場の確保を図るとともに、駅周辺などの通行環境の確保や景観保持に向けた放置自転車対策を推進します。



現状・課題と施策の関連性(4 - 1【いかす】)

自転車の活用推進に関する現状

1	自転車のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・5 km以内の短距離移動では最も速い交通手段 ・週2回以上の自転車運動で生活習慣病予防などの健康効果あり ・二酸化炭素排出量がゼロで環境にやさしい ・災害時の移動に有効活用できる可能性がある
2	市の地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・市域の98.6%が平坦であり、自転車利用率が高い ・主な公共交通は鉄道とバスだが、地域によっては利用しにくいエリアがある
5	自転車の多様化と公共交通の補完	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルポートは実証実験開始後、1年4ヶ月で倍増。利用も1.8倍増 ・現状シェアサイクルの利用率は15%程度だが、利用意向のある人は多い
7	健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の7割が、1日30分以上かつ週2回以上の運動習慣あり ・健康寿命は年々延びてはいるが、男女ともに埼玉県平均以下
8	市内の商業・観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川河川敷周辺を中心に、サイクリングを楽しめるスポットがある。



自転車の活用推進に関する課題

課題番号	課題
1 -	市民や来訪者が、手軽な交通手段として、また環境に配慮しつつ健康的に市内を周遊するためのツールとして、シェアサイクルポートの拡充が必要
1 -	交通結節点における公共交通へのアクセス向上を図るため、公共交通への乗り継ぎを意識した自転車利用環境の整備を行うことが必要
1 -	手軽な健康増進ツールとして、市民への自転車のメリット周知が必要
1 -	災害時における自転車利用の有効性検討が必要
1 -	自転車を活用したにぎわい創出や地域の活性化を図るため、市民や来訪者にとって安全・快適なサイクリング環境の整備が必要

4 - 1 【いかす】～自転車を活用しやすい環境づくり～

施策	課題番号	取組内容	位置付け	成果指標	目標値
【施策1】 自転車利用の 利便性を高め る交通環境づく りの推進	1 -	取組 : シェアサイクルの普及促進	拡大	シェアサイクル ポート数	R5: 59箇所 R10: 75箇所
	1 - 1 -	取組 : 公共交通機関との接続性の向上 交通結節点におけるシェアサイクルポートの 増設 バス停留所における駐輪スペースの整備・拡充	拡大 ・ 検討	交通結節点周辺 におけるシェアサ イクルポート数	R5: 8箇所 R10: 13箇所
【施策2】 自転車の日常 利用を促す取 組の推進	1 -	取組 : 自転車を活用した健康づくりの推 進	新規	関係課との調整 により設定	R5: R10:
		取組 : 自転車通勤等の促進	新規	通勤・通学で主に 自転車を利用す る人の割合	R5: 38.6% R10: 41%
	1 -	取組 : 災害時における自転車利用の推進	新規・検討		
【施策3】 自転車を活かした地域活性化 の推進	1 -	取組 : サイクリング環境の充実 サイクルサポーター制度の導入 荒川河川敷や戸田公園エリアを活用した 自転車利用の促進	新規	「サイクルサポ ーター制度」登録事 業者数	R5: 0施設 R10: 25施設
		取組 : サイクリングマップによる情報発信	新規	サイクリングマッ プの更新回数	R10: 5回 (毎年度見直し)

自転車の安全・安心に関する現状

2	市の地域特性	・人口は増加傾向であり、外国人の占める割合が県内で3番目に高い
3	自転車利用状況	・利用頻度は20代以下から60代までの各年代で6割以上の人が週5日以上利用しており、幅広い世代で積極的に利用されている
9	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降、市内の交通事故死傷者数及び自転車関与事故の割合は減少傾向 ・運転免許証自主返納者数は、令和元年をピークに減少。返納後の移動手段は自転車意向が多い ・自転車乗車ルールやマナーは、8割以上の認知度に対し、その半数以上が遵守していない ・小学生以下と比べて中学生以上の世代に対する自転車交通安全教育の機会が少ない ・自転車損害保険は、加入率7割以上に対し、利用頻度の少なさから加入しない人もいる



自転車の安全・安心に関する課題

課題番号	課題
2 -	小学生や幼児に限らず、中高生や社会人、高齢者など、各世代に対応した自転車安全教育を実施することが必要
2 -	自転車ルール・マナーの認知度に対して、遵守している人が少ないため、ルール・マナーを守ることの重要性をより多くの人に知ってもらう機会を作ることが必要
2 -	外国人の人口割合が高いため、外国人向けの安全教育や、多言語対応のチラシや看板等により周知を図ることが必要
2 -	子供が自転車の乗り方やルールを学ぶ機会を創出し、安全に自転車の練習をすることができる環境を整備することが必要
2 -	自転車の定期的な点検・整備や自転車損害賠償保険加入の必要性について、多くの人に周知・啓発を図り、自転車の安全利用を促すことが必要

4 - 2 【まもる】～自転車の安全利用に向けた意識を高める環境づくり～

施策	課題番号	取組内容	位置付け	成果指標	目標値
【施策4】 自転車ルール・マナーの向上に向けた意識醸成の推進	2 -	取組 : 多世代に向けた自転車安全教育の推進	継続	交通安全教室開催回数	R5: 42回 R10: 46回
	2 - 2 -	取組 : 自転車等のルール・マナーに関する周知・啓発の推進	継続	啓発活動開催回数	R5: 19回 R10: 21回
	2 -	取組 : 子供が安全な自転車の乗り方やルールを学ぶ機会の創出	継続	子ども自転車教室開催回数	R5: 13回 R10: 14回
	2 -	取組 : 自転車利用者に対する指導・取締り強化の要請	継続		
【施策5】 自転車利用時の安心感・安全性を高める取組の推進	2 - 2 -	取組 : 自転車用ヘルメット着用の推進	拡大	自転車用ヘルメット着用促進補助金の申請総件数(令和5年度～令和7年度の3箇年事業)	R5: R7: 4,260件
	2 -	取組 : 自転車損害賠償保険への加入促進	継続	自転車損害賠償保険加入率	R5: 72.2% R10: 79.4%
		取組 : 手軽に点検整備できる環境の充実	継続	自転車安全点検教室開催件数	R5: 1回 R10: 2回



自転車の通行環境に関する現状

3 自転車利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の移動実態では、市内間移動や各地区と隣接する他自治体との相互の移動手段として、自転車の分担率が高い
4 安全な自転車通行環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、市の自転車施策で最も必要な取組として、自転車通行空間の整備に関する意見が最も多く、市民の関心・ニーズが高い ・第2次歩行者自転車道路網整備計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めており、総延長38.6kmのうち、令和4年度末時点で11.5kmの整備が完了している ・公園や工場・倉庫の周辺を中心に路上駐車が多く、自転車の通行を阻害している



自転車の通行環境に関する課題

課題番号	課題
3 -	整備優先路線を中心に自転車通行空間の整備を順次行っているが、無電柱化路線の整備と併せた効率的な整備を行うことが必要
3 -	多くの人が自転車通行空間を通行している一方で、通行のしやすさについては不満足も多く、より安全・快適な自転車通行空間を整備することが必要
3 -	自転車通行の妨げとなる路上駐車を防止し、安全性を確保することが必要
3 -	自転車通行における危険箇所(事故多発箇所)を周知することで危機意識の醸成を図るとともに、危険な道路や交差点の安全対策を検討することが必要



4 - 3 【はしる】～自転車が安全・快適に走行しやすい道路環境づくり～

施策	課題番号	取組内容	位置付け	成果指標	目標値
【施策6】 安全・快適に自転車が走行できる道路環境整備の推進	3 - 、	取組 : 無電柱化等を踏まえた自転車通行空間の計画的な整備と維持管理	継続	自転車通行空間整備総延長	R5: 12.83km R10: 17.18km
	3 -	取組 : 路上駐車削減に向けた取組の促進	継続	不法放置車両撤去率	R5: 100% R10: 100%
	3 -	取組 : 自転車通行危険箇所の把握と対策の推進	継続	危険箇所に対する安全対策の総実施箇所数	R5: 29箇所 R8: 38箇所



現状・課題と施策の関連性(4 - 4【とめる】)

自転車の駐輪環境に関する現状

3 自転車利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の移動実態では、市内間移動や各地区と隣接する他自治体との相互の移動手段として、自転車の分担率が高い
6 放置自転車対策と駐輪環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3駅周辺の放置自転車台数は平成27年度をピークに年々減少していたが、コロナ禍を経て微増傾向にある ・3駅とも駅周辺全体としては駐輪可能台数に余裕があるが、施設の立地や条件によって利用者の偏りが生じており、混雑状況が二極化している ・子供乗せ自転車など、ラックに収まらない自転車が增加している



自転車の駐輪環境に関する課題

課題番号	課題
4 -	放置自転車台数が再度増加に転じているため、状況に応じた効果的な駐輪指導や警告・撤去、啓発活動等を継続して行うことが必要
4 -	市営自転車駐車場における利用者の偏りを解消し、快適な駐輪環境の創出を図るため、施設条件に応じた利用料金の設定や付加サービスの導入等について検討することが必要
4 -	ラックに収まらない自転車の増加に対応した、受け入れ環境の拡充が必要
4 -	新たな商業施設や共同住宅等の開発により駐輪需要が生じる場合に、路上駐輪を発生させないための措置を施すことが必要
4 -	今後費用の増大が見込まれる市営自転車駐車場の施設維持管理費の平準化に向け、計画的な施設改修の検討が必要



4 - 4 【とめる】～自転車をとめやすい駐輪環境づくり～

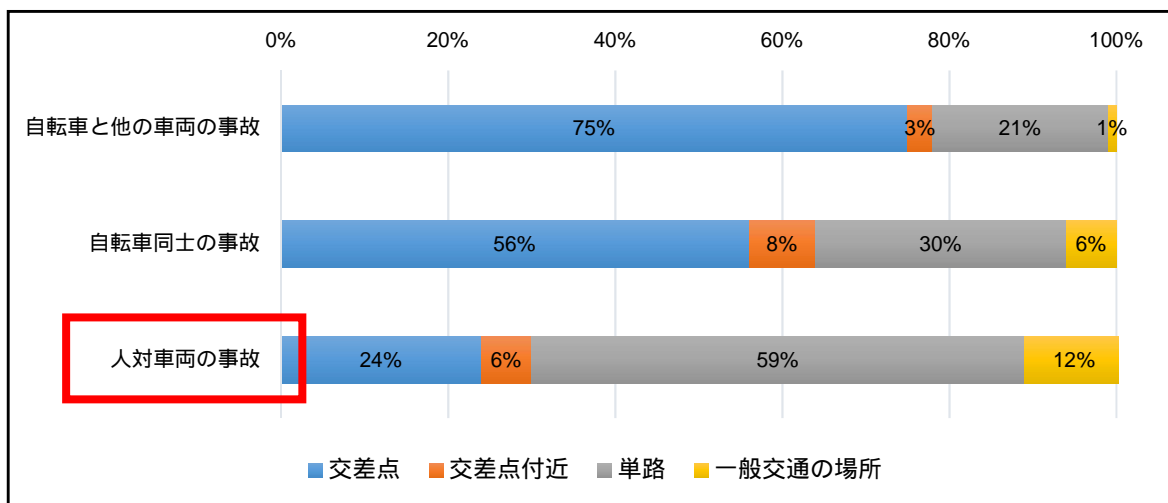
施策	課題番号	取組内容	位置付け	成果指標	目標値
【施策7】 誰もが利用しやすい市営自転車駐車場運営の推進	4 - 4 - 4 -	取組 : 地域のニーズを踏まえた利用環境の最適化 多様な自転車ニーズに対応した駐車スペースの確保 利便性向上に向けた場内設備改修の検討 自転車駐車場ごとの特色ある付加サービスの充実	拡大 ・ 検討	多様な自転車の収容台数	R5: 1,178台 R10: 1,450台
	4 -	取組 : 施設条件や利用目的に対応した利用料金の検討 施設条件に見合った利用料金の検討 利用目的に対応した一時利用料金の検討	検討		
【施策8】 駐輪需要に応じた駐輪スペースの確保と利用の促進	4 -	取組 : 駐輪需要を生じさせる施設等における自転車駐車場の整備促進 自転車駐車場の附置義務に基づく整備促進 既存施設等における路上駐輪防止対策	継続 ・ 検討	基準に適合した敷地内駐輪場を有する開発の割合	R5: 100% R10: 100%
		取組 : 駅周辺駐輪場の利用促進に向けた周知・広報の推進	拡大	市営自転車駐車場の一時利用件数	R5: 812,630台 (R4実績) R10: 837,000台
【施策9】 放置自転車のない快適な通行環境確保の推進	4 -	取組 : 放置自転車の抑制に向けた取組の強化 駐輪指導、警告・撤去活動の強化 放置自転車防止に向けた周知啓発の推進	継続	放置自転車が少なく感じる人の割合	R5: 55.2% R10: 60%
		取組 : 放置自転車の活用推進	継続	リサイクル販売・売払回数	R5: 8回 R10: 8回

第1回策定委員会における意見等への事務局の対応状況

1. 戸田市における自転車利用環境の状況について(資料2関連)

No	意見・質疑等	事務局の対応
1	<p>6ページ下部のグラフ「自転車関連事故の発生場所」について、「人对車両」とあるが、車両には自転車を含むのか。</p> <p>【事務局の回答】 出典に記載がなく判断がつかないが、当該データを計画に掲載する場合は調査の上、細分化したデータを掲載する。</p>	<p>埼玉県警察から提供を受けた基礎データを改めて確認したところ、「人对車両の事故」のグラフは「人」と「自転車」に限定したデータから作成したグラフでした。</p> <p>そのため、グラフの名称を「人对車両の事故」から、「自転車対人の事故」に文言を修正の上、計画書に掲載しました。</p> <p style="text-align: right;">計画45ページ</p>

【参考】第1回会議提出データ 自転車関連事故の発生場所



2. 戸田市バイシクルシティ推進プランの骨子案について(資料4関連)

No	意見・質疑等	事務局の対応
1	<p>自転車の楽しさや健康面のメリットに加えて、災害時の交通手段としての有効性も周知していく必要があるのではないか。</p>	<p>「施策2:自転車の日常利用を促す取組の推進」のうち、「取組 :災害時における自転車利用の推進」を掲げており、シェアサイクルをはじめとした災害時における自転車活用の手法等について検討を進めます。</p> <p style="text-align: right;">計画66ページ</p>
2	<p>サイクリストの憩いの場として、彩湖・道満グリーンパークの他にも、荒川土手を活用したサイクリスト専用施設等の整備を積極的に進めてほしい。</p>	<p>「施策3:自転車を活かした地域活性化の推進」のうち、「取組 :サイクリング環境の充実」において、「荒川河川敷や戸田公園エリアを活用した自転車利用の促進」を掲げており、国や県と連携した河川敷活用の検討を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">計画67ページ</p>
3	<p>交通分担率から、戸田市民が日常的に自転車を活用していることが伺えるが、雨の日はどうか。雨天時の利用交通手段について調査してみてもよいのではないか。</p>	<p>報告事項1のとおり、「通勤・通学時の交通手段に関するWEBアンケート」を実施し、雨天時の交通手段について調査しました。</p>
4	<p>自転車と公共交通とバリアフリーの計画が同時進行していることを活かして、整理することで特色のある計画が作れるのではないかとされる。</p> <p>公共交通との関係では、自転車通行空間における停車中のバスの追い越しをスムーズにするためバスベいの設置が有効であり、公共交通計画との連携によりバスベいの重点設置路線を抽出できるのではないかと。</p>	<p>自転車の通行とバスの発着における安全性の両面における連携を図るため、地域公共交通計画策定時におけるバスベい重点設置路線の抽出と計画への位置づけを検討するとともに、第2次歩行者自転車道路網整備計画の見直し時における地域公共交通計画との整合を図ります。</p>
5	<p>バリアフリーとの関係では、自転車ネットワークとバリアフリーネットワークを重ね合わせ、重なる場所については、車いす利用者などバリアフリーとしての機能にも配慮した上で、改めて自転車ネットワークの正当性を考慮する必要があるのではないかと。</p>	<p>平成20年6月1日に道路交通法が一部改正され、自転車は原則、車道を通行することになりました。自転車通行空間の整備に当たっては、歩道空間を確保し、歩道を走行する車いす利用者に配慮しながら、順次整備を進めていきます。</p>

No	意見・質疑等	事務局の対応
6	<p>戸田市は若年層が多いとのことだが、地区によっては、外国人の若年層は多いものの、昔から居住する日本人は高齢者層が多い地区もあるため、参考としていただきたい。</p>	<p>外国人の人口割合が県内でも上位であることを踏まえ、自転車のルールやマナーの周知・啓発にあたっては、多言語とするほか、外国人に対する安全教育の機会創出についても、「施策 4:自転車ルール・マナーの向上に向けた意識醸成の推進」に掲げています。</p> <p style="text-align: right;">計画70ページ</p>
7	<p>埼玉県では市境を跨いだ自転車利用も多く、計画策定にあたっては、広域的な観点から、近隣市との相互の自転車利用における利便性にも考慮する必要があると思われる。</p>	<p>市内外からの自転車の乗入れに対応するため、「施策1:自転車の利便性を高める交通環境づくりの推進」において、交通結節点におけるシェアサイクルポートや駐輪スペースの拡充を掲げている他、「施策7:誰もが利用しやすい市営自転車駐車場運営の推進」に「施設条件や目的に対応した利用料金の検討」を掲げており、市外料金の見直しを含めた検討を進める予定としております。</p> <p style="text-align: right;">計画63、64、77ページ</p>
8	<p>関連計画にある「スマートウェルネスシティ推進プラン」との連携も踏まえて策定していきたいと考えている。</p>	<p>「施策2:自転車の日常利用を促す取組の推進」に「自転車を活用した健康づくりの推進」を掲げていますが、「スマートウェルネスシティ推進プラン」の進捗状況も踏まえ、取組内容の整合を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">計画65ページ</p>

今後のスケジュールについて



策定委員会の主な議題(案)

第1回

- ・現状整理
- ・骨子案の確認、検討
(基本理念、基本方針、
施策の方向性)
- ・アンケート結果

第2回

- ・骨子案の修正・決定
- ・計画素案の確認、検討
(骨子案に基づく具体
的な事務事業、目標の
指標設定)

第3回

- ・計画素案の修正・決定
- ・計画原案の確認、検討
- ・パブリックコメントの実施

第4回

- ・パブリックコメントの実施
結果
- ・計画原案の修正・決定

戸田市サイクリングロードマップの 作成状況について



戸田市サイクリングロードマップの概要

目的

市民への自転車利用を促し、市内を楽しく周遊してもらうことで、地域活性化及び健康増進を図るとともに、自転車のメリットを周知させる。

ターゲット

初版は普段自転車に乗る機会が少ない人に、自転車利用を促すような内容構成とする。自家用自転車に加え、シェアサイクルの利用促進も併せて図る。

第2版以降はバイシクルシティ推進プランに盛り込む事業の進捗状況も踏まえながら、拠点情報等、サイクリストも呼び込めるような内容を徐々に盛り込む。

スケジュール

令和5年											令和6年		
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コース案、 掲載事項検討		掲載候補店舗 等の抽出			コース案検討① 仮コース試走①		コース案検討②		印刷業者 との契約	コース案検討③ 仮コース試走②		印刷業者との 最終校正	
●第1回検討会 (上旬) ・方向性、 スケジュール、 役割分担等の 確認		●第2回検討会 (中旬) ・コース案 掲載事項 掲載店舗等 の検討			●第1回策定委員会 (進捗報告)		●第2回策定委員会 (進捗報告・ コース案提示)		●第3回検討会 (下旬) ・コース案の修正 ・店舗等の再抽出	●第3回策定委員会 (進捗報告・ コース案提示)		●第4回検討会 (中旬) ・掲載内容の決定	
									●第4回策定委員会 (進捗報告・ コース案確定)	掲載店舗等 との調整		★ 初版完成 ・納品	

戸田市サイクリングロードマップのルート(案)

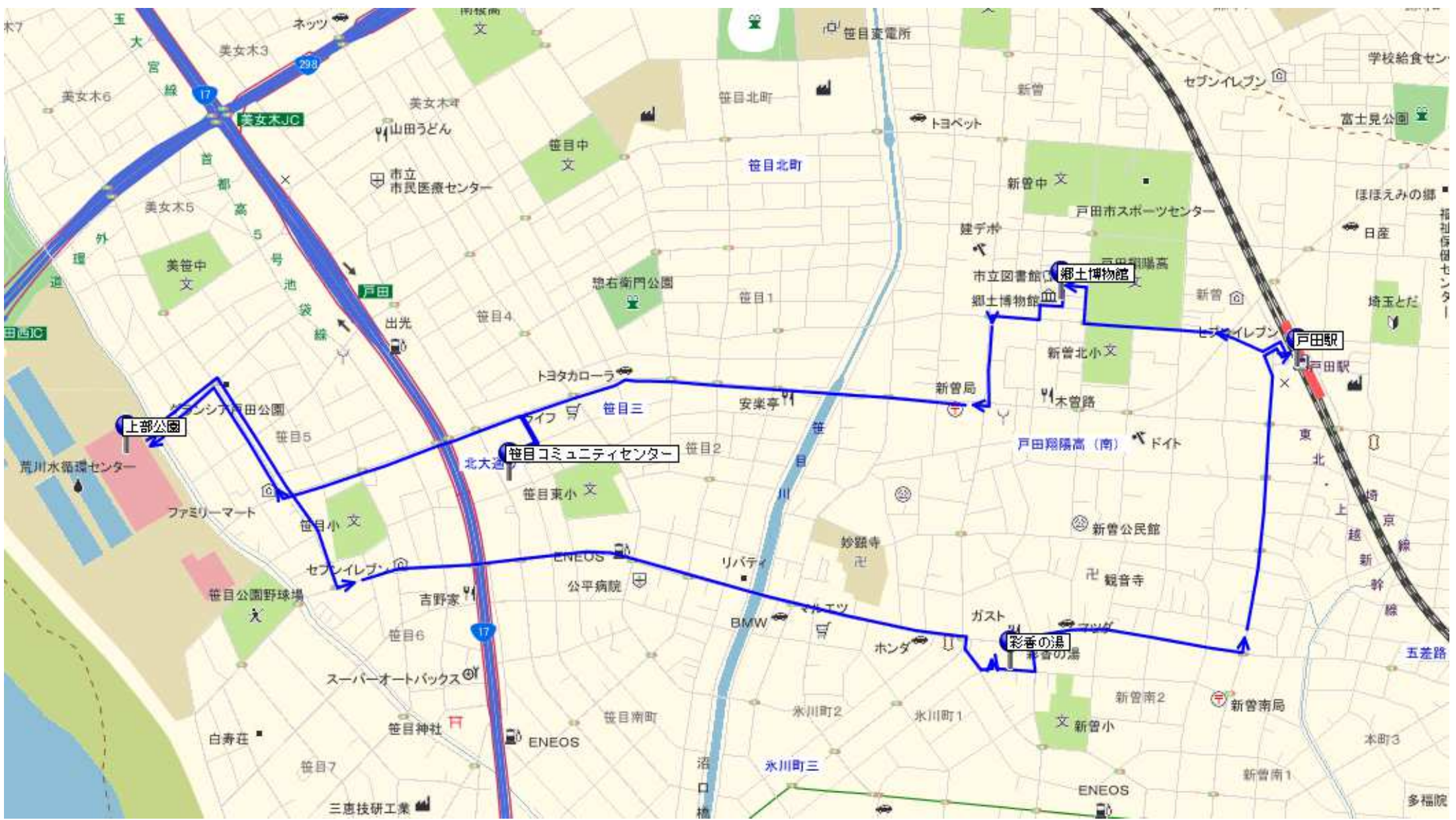
マップ面(市内全域)



マップ面(北戸田駅ルート)



マップ面(戸田駅ルート)



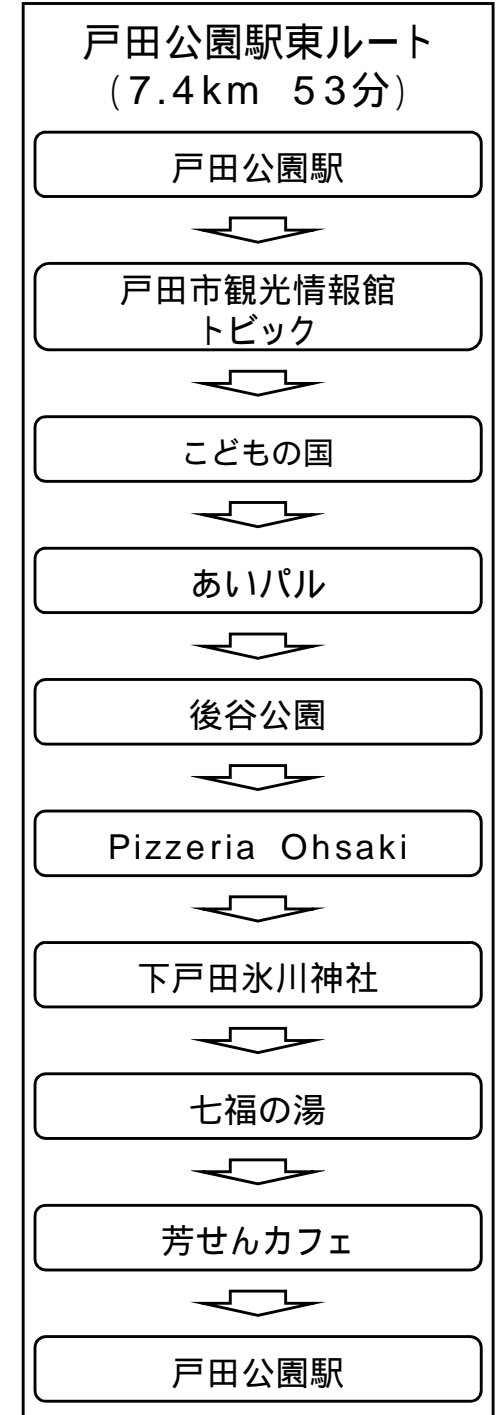
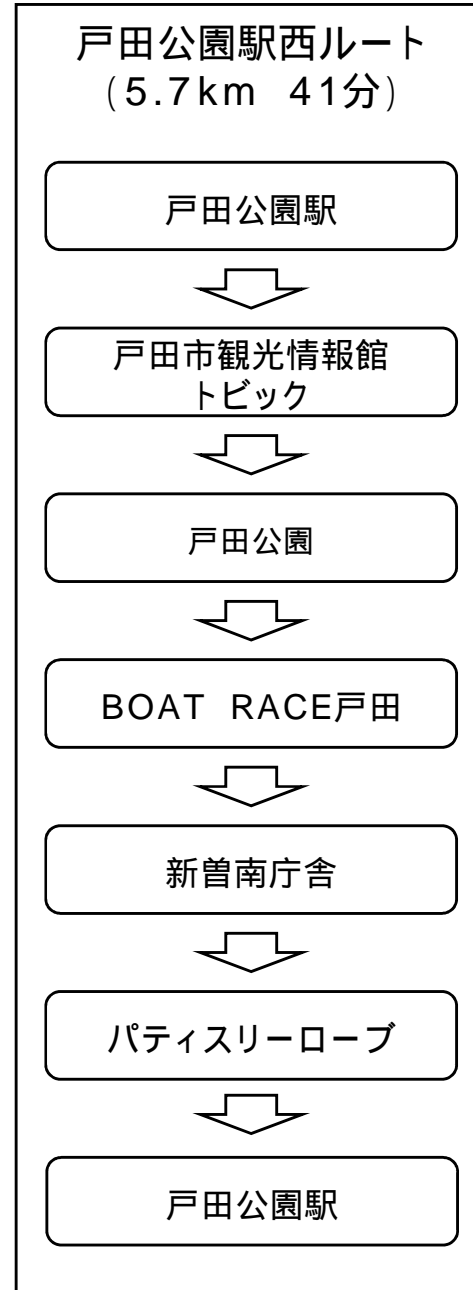
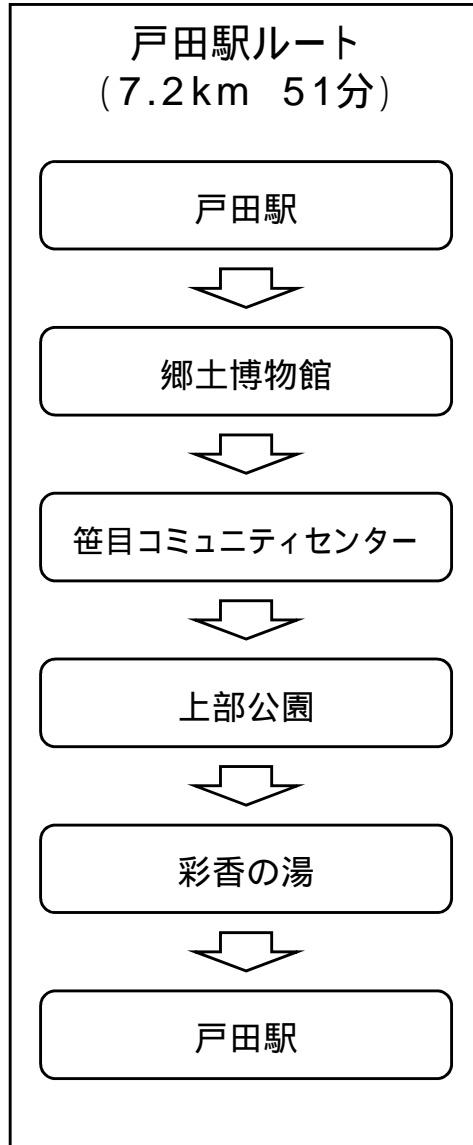
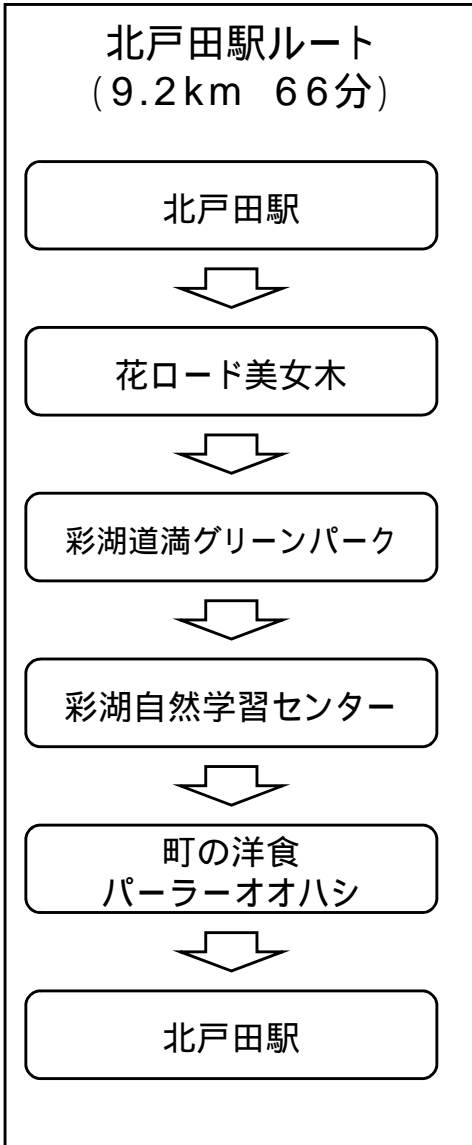
マップ面(戸田公園駅西ルート)



マップ面(戸田公園駅東ルート)



戸田市サイクリングロードマップのルート(案)



8.4km/hで計算
経路地での滞在時間を除く